

(様式3) 【富岡東中学校 実施報告書①】

拠点校として取り組んだ実践研究テーマ

- ・中高6年間の学習内容における知識・技能の習得・活用につながる，高校との連携を図った授業づくり
- ・思考力・判断力・表現力の育成につながる，一人一台端末，デジタル教科書，電子黒板を効果的に活用した授業づくり
- ・個に応じた継続的な自学自習につながる一人一台端末を効果的に活用した授業づくり

実践研究の内容等

月	内容等
5	【拠点校事業① 学力向上実行プラン作成検討会】 ・拠点校と協力校との課題を共有し，小中連携または中高連携における共通の取組についての検討
6	・拠点校と協力校とにおける学力向上実行プラン共有
9	【拠点校事業② 全国学力・学習状況調査，ステップアップテストの結果，課題の共有】 ・課題を基に授業改善，取組内容の見直し
10	【拠点校事業③ 授業研修会】 ・研究授業，授業研究会 【拠点校事業④ 協力校の公開授業参観】
2	【中高一貫教育研究委員会・学力向上委員会】 ・拠点校と協力校と今年度の成果や課題を共有する

(様式3)【富岡東中学校 実施報告書②】

取組の流れ

学力向上実行プラン
作成検討会

授業づくり研修会
指導案検討会

研究授業①
授業研究会

学力調査・ステップ
結果分析

授業づくり研修会
指導案検討会

研究授業②
授業研究会

特徴ある取組について

- ・授業づくり：高校の先生方と協議を重ねながら練り上げた。
- ・授業内容：高校でも学習する「産業革命」を扱い、高校での学習に向けて中学校段階で取り扱うべき内容を取捨選択し、高校との連携を意識した。

一人一台端末を活用し、インターネットからの情報収集を行うことで、適切な情報を選択する判断力の育成を図った。

さらに、クラス全員の意見を電子黒板に投影することで多面的な見方や考え方を育み、思考力・表現力の育成を図った。



(様式3) 【富岡東中学校 実施報告書③】

取組の成果

授業づくりや授業研究会等において、協力校との連携を図りながら進めることができた。一人一台端末を用いたメタモジによる電子黒板やタブレットの効果的な使い方の提案となった。基礎基本を活用した課題に取り組ませ、学級で共有したことで、複数の考え方を共有することができた。

本校の学校力について

中高一貫校であるため、6年間を見通した学習指導ができることが他校にはない本校の強みであると考え、中高6年間の学習内容における知識・技能の習得・活用につながる、高校との連携を図った授業づくりに取り組んだ。

管理職のマネジメントについて

中高の教員による相互授業参観をより活性化させるため、例年より期間を短縮し集中して実施した。その結果、教員がより積極的に参観することにつながり、中高互いの生徒の実態把握が深まった。また、教員が6年間の学びのつながりを再確認したことで、個々の授業改善に取り組むきっかけとなった。